

児童発達支援自己評価表(事業所職員向け)

平成30年11月実施

回収率100%

		チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	2	1	法令に準じたスペースとなっているが、活動内容によってはスペースを狭く感じるため、スペースも考慮した上で活動内容を考え、設定していく必要がある。
	②	職員の配置数は適切であるか	5	0	0	職員の配置数は適切であるが、業務量の多さから各職員の抱える負担が大きいため、業務の効率化が必要である。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	0	0	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5	0	0	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	1	0	全職員が参画した業務改善に向けた話し合いや振り返りは行っているが不定期となりやすいため、定期的に行えるよう取り組む必要がある。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	1	3	1	今回が初めての実施のため、今後は定期的に取り組むことを予定している。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	0	3	2	今回が初めての実施のため、今後は定期的に取り組むことを予定している。今回実施した結果については、ホームページを通して公表予定である。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	3	2	毎月外部委託によるコンサルテーションを受け、業務改善に繋がっているが、一部の業務の評価であるため、今後、業務全体に対する評価を検討していく必要があると思われる。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	1	0	研修の機会の確保は行っているが、職員体制の関係から全体的に内部研修、外部研修共に機会が少ないため、職員体制の見直しも含めた上で、今後機会を増やせていけるとよいと考えている。

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	5	0	0	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	0	0	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援がドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5	0	0	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4	1	0	当初は計画に沿って支援が進んでいても、途中より支援者側にズレやブレなどが生じるケースもあるため、定期的にケース会議を設け話し合う必要がある。また、幼児は成長が早いので、目標の見直しも定期的に行っていく必要がある。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	2	0	提供している活動の関係から、プログラムの主な立案者は活動担当職員が行っているが、毎日のミーティングを通してプログラムの内容も含め、話し合いながら進めている。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	1	0	時には同じ内容を続けて取り組むことがあるが、子どもの状態や発達状況を考慮した上で判断している。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	5	0	0	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	0	0	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	5	0	0	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	0	
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4	0	1		

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	2	2	1	サービス担当者会議の開催自体が少ないため参画できる機会がほとんどないが、開催がある際には子どもの様子や状況を把握した職員が参画している。
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	2	2	1	母子保健や子育て支援等との連携をするケースや機会がほとんどないが、少しずつ関係者や関係機関との繋がりを作り、支援に活かせるかよと考えている。
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保険、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				該当施設ではないため、回答を行わなかった。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				該当施設ではないため、回答を行わなかった。
	㉔	移行支援として、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3	2	0	保育園や幼稚園などへの移行支援のケースがないが、該当するケースが出た場合には、情報の共有や相互理解を図っていきたいと考えている。
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	2	3	0	就学支援シートを通しての情報共有は少しずつ行えてきているが、相互理解を図るまでは行えておらず、今後どのように移行支援を行っていくか課題である。
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	3	0	地域の児童発達支援事業所との連携は少しずつ行えるようになってきているが、その他の専門機関との連携や、助言、研修などを受ける機会を設けることができていないため、今後機会を作っていけるとよと考えている。
	㉗	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	5	0	現在、交流や活動をする機会が持っていないが、今後機会を作っていければと考えている。
	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	2	3	0	会議がいつ行われているのか、どのような会議が行われているのかの情報を得られておらず、参加以前の問題となってしまっている。
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	0	0	
	㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	0	5	0	家族支援プログラムは行っていないが、毎回、保護者に支援の様子を伝える時間を設けており、この中で家庭での対応方法や、関係づくりなどの助言を行っている。

保護者への説明責任等	③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	1	0	契約時に、重要事項説明書に記載されている範囲ではあるが、説明を行い、質問などへの対応もその際に行っている。
	③③	児童発達支援がドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容とこれに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	5	0	0	
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	0	0	
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	5	0	父母の会の活動や保護者会などは現在行っていないが、保護者同士の連携の必要性は感じている。しかし、中には必要性を感じていない保護者もあり、ストレスや負担になることも考えられるため、配慮や工夫が必要である。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	0	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	2	0	施設のプロログで定期的に活動の様子などを伝えているが、ホームページ自体を見たことがない保護者もいる様子のため、周知をする必要がある。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	4	1	0	個人情報の取り扱いには十分注意をしているが、書類の保管、電話など建物の構造上、限界を感じる部分がある。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	0	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	5	0	地域住民と交流できるような行事や活動は行っていないが、隣家とは声をかけ合う機会があったり、施設の建物自体が「地域に開かれた施設」をコンセプトとした建物となっているため、地域住民自ら施設に立ち寄り、声をかけてくるケースもある。
	非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	0	5	0
④②		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	0	5	0	行う予定であるが、日々の業務で手一杯な状況となってしまうため、業務の見直しも含めた上で対応をしていく必要がある。
④③		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	4	1	0	服薬や発作、アレルギーなど医療や身体についての情報が記載できる用紙を配布し、確認を行っている。
④④		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	3	0	医師の指示書が必要なまでのアレルギーを持つ子どもがいないが、保護者と随時確認を取りながら対応を行っている。
④⑤		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	0	0	
④⑥		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	1	0	研修の機会を確保できるよう対応している。
④⑦		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	1	2	2	現在、身体拘束が必要なケースが施設として無いが、ある場合には、組織的な決定、保護者への事前説明、支援計画への記載を行う予定である。